

「ファシリテーション Labo.」プログラム

	日程	ピリオド		時間	テーマ	目標
①	11月13日	1 回目		3	アイスブレイクの意義を体感する	アイスブレイクを体験しメンバー同士が打ち解けた状態になると同時に、小集団におけるアイスブレイク（Unfreezing）の意義を理論的背景と共に理解する。
②合宿					ファシリテーションの基本を理解する	ファシリテーションの理念（マインド）と手法（スキル）について、体験を通して理解する。
	11月23日	1	1 日目午後	5	ファシリテータマインドの根っこに触れる	いくつかのワークショップを体験しながら、グループ活動における「コンテンツ」と「プロセス」の違い、相互作用の間に起こる様々な懸念を理解し、それらを意識することができるようになる。
		2	1 日目夜	2	対話を通して話し合いのカタチを考える	価値観の衝突やすり合わせを伴う話し合いを体験しながら、議論や会話とは違う「対話」を理解し、意図的に対話が可能になるようになるための基礎を築く。
	11月24日	3	2 日目午前	3	「参加型の場」をつくるポイントを押さえる	参加型の場をつくる際に意識したい事柄（空間デザイン、グループ人数の設定、対象者の想定など）について、簡単な体験を通して感覚をつかみ、状況に応じて使い分けられるようになる。
		4	2 日目午後	4	ファシリテーションのマインドと手法を実地に学ぶ	ワークショップの参加／運営を通じて、ファシリテーションに必要な【話す、聴く、観る、問う、返す、書く】に関するリテラシーを高め、ワークショップを運営する際のマインドと手法を押さえる。
③	11月27日	3 回目		3	学内に潜むファシリテーションのニーズを掘り起こす	合宿でのコンテンツとプロセスを振り返りつつ、身のまわりにあるファシリテーションのニーズを意識化し、そのかわりをシミュレートすることで、ファシリテータマインドを涵養する。
④	12月11日	4 回目		3	実際にワークショップをデザインする	今までの体験とポイントを踏まえつつ、与件に従ってプログラムをデザインすることができるようになる。
⑤	12月25日	5 回目		3	ファシリテータとして活躍する	イベントを企画・運営することで、本講座のまとめとし、これからもファシリテータマインドを基礎とした参加型の場を積極的にデザイン、運営できるようになる。